



みんなが生き生き過ごせる東町小に…

校長 羽田野庸史

校庭の新緑が目まぶしい季節になってきました。新年度が始まって早1ヶ月、1年生から6年生の教室をのぞいてみると、いろいろな子供たちがいます。

本校で児童の見方について教員研修の講師をお願いしている星山麻木先生（明星大学教育学部教授）は、自著「気になる子どもみんないきいき保育」（河出書房新社）の中で、7色の個性豊かな友達として次の7人を紹介しています。

レッドさん…規則性が好き、正義の味方、自分が一番、完璧が好き、プライドが高い

オレンジさん…いつも不安でドキドキ、やさしい、あわてんぼう、コツコツ何かを作るのが好き、時間が気にならない

イエローさん…アイデアいっぱい、じっとしていない、気持ちの浮き沈みが激しい、よくけんかになる

グリーンさん…静かな才能、ひそかなプライド、感覚が過敏、内向的、言われたことをきちんとやる

アクアさん…一人の時間が大切、何でもよく知っている、初めてのことに入れない、疲れやすい、絵やマークに反応してよく覚えている

ブルーさん…穏やかで大らか、ゆっくり・親切、言葉での説明が苦手、よく間違える、何をすることも時間がかかる

そして、最後の一人、パープルさんは、自分かもしれないと想像して、どの色の友達に似ているかを問うています。

当然ですが、子供の発達は、本来、一人一人違います。どんなに個性的で少数派に生まれた子供であっても、豊かで素敵な個性の持ち主です。しかし、人は、自分の価値観があり、自分の視点から他者を判断しています。だから、自分とは違う見え方、感じ方、聴こえ方の少数派の他者を理解することに抵抗があるのかもしれない。

でも、子供たちはもちろん、保護者も先生もみんなが生き生き過ごせる東町小にするためには、多数派と少数派の子供たちとの折り合いのつけ方をお互いが少しずつ学び合っていくことが大切です。

【スマイル・ルームへの通室及び

学習支援員の配置の申し込みについて】

昨年度より、集団生活への適応や学習について気になる児童を対象に本校において通室指導を行う特別支援教室を開室しました。本校では、「スマイルルーム」と呼んでいます。スマイルルームは、生活面や学習面での難しさを克服・改善する指導を行うために設けられた教室です。

また、所属する学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別に支援を行う学習支援員についても今まで通り配置を希望することができます。

スマイルルームへの通室や学習支援員の配置を新規に希望される保護者の方は、5月17日(水)までに、担任、または田足井美奈主任教諭（本校特別支援コーディネーター）、副校長に相談してください。

5月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	月	安全指導 聴力(1年) 遠足(5年) 個人面談①	なし
2	火	避難訓練 消防写生会(1年) 個人面談②	なし
3	水	憲法記念日	
4	木	みどりの日	
5	金	子どもの日	
6	土		
7	日		
8	月	運動会時程始 個人面談③ 視力(6年) 内科(3年)	なし
9	火	個人面談④ 耳鼻科(1・4年)	なし
10	水	4時間授業 視力(4年)	なし
11	木	個人面談⑤ 視力(5年)	なし
12	金	体育朝会 個人面談⑥ 視力(3年)	なし
13	土	日本文化の時間	なし
14	日		
15	月	委員会 視力(2年)	4~6
16	火	耳鼻科(3・6年) 学校評議員会	3~6
17	水	視力(1年) 運動会係児童打ち合わせ①	なし
18	木	児童集会 眼科(1~6年) 内科(6年)	4~6
19	金	全校練習①	2~6
20	土		
21	日		
22	月	全校練習② クラブ活動	4~6
23	火	全校練習③ 運動会係児童打ち合わせ②	3~6
24	水	全校練習④	なし
25	木	音楽朝会	4~6
26	金	全校練習予備 前日準備(5・6年)	なし
27	土	運動会	なし
28	日		
29	月	運動会振替休日	
30	火		3~6
31	水		なし

5月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

「言葉遣い」は「心遣い」

言葉には価値観が、行動には目的が、表情には内面の心理が表れます。言葉はその人の心を表し、態度となって表れ、人柄として他者に伝わります。相手を想う気遣い、心遣いから発した言葉や態度は「誠実」という形となり、信頼の輪を広げることになります。言葉遣いを見直し、信頼の輪を広げていきましょう。